



Atsuko Tanaka
— 田中敦子 —

素天蓮州

STAINLESS STEEL BAR & WIRE

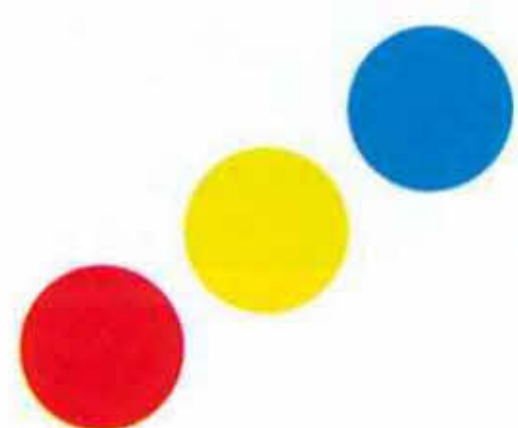
NABEKURA

鋼倉金属工業株式会社 和田山工場

〒669-5252 兵庫県朝来郡和田山町筒江字中山165番地7

TEL 0796 (74) 2011 (代) FAX 0796 (74) 0150

OSAKA・TOKYO



但馬へ贈る歌
——ミュージシャン 三宅信徳(アポロ)



プロフィール

みやけのぶのり(山東町出身)
1986年ポップシンガーマドンナに影響されて作曲に目覚める。1993年デモテープでワーナー・作曲オーディション合格。1994年語学にはまる。フランス語、アラビア語など、最大10カ国語を操り、国際色豊かな交流を深める。クニコという一人の天才歌手にであい、ユニット結成。タワーレコード・ディグアップ・オーディションで決勝進出。1995年NHKソリトンでオリジナル曲が紹介される。1996年FM浜松・デモテープコンテスト5週連続首位。1998年クニコ結婚により渡米。ソロ活動を始める。1999年安藤秀樹の前座をつとめる。2000年ファーストアルバム「FRUITSMANIA」インディーズよりリリース。性的少数派によるイベントに出演。ユニット復活。2001年現在は作詞・作曲を中心に活動中。

<http://homepage2.nifty.com/Apollo/>



ほおずきの町

駅前の目抜き通りもひなびたこの町
夜八時になると店のあかりが消える

地藏橋を渡って砂利道を歩けば
天の川のせせらぎが遠くにきこえる

誰もが誰もを知っている狭さが息苦しくて
まだ見ぬ世界に憧れて都会に旅立てば

ああ なんて深く
ああ あたたかい
ああ 幼き日々にあふれる光よ

ふるさとを恋しがるような涙はいやだけれど
ときどきは胸の中からそっと取り出して
抱きしめてあげたい 大切な場所だから

盆ざるに並べた梅の実をうらがえす
おばあちゃんの鼻歌にはこぶしが入ってる

おばあちゃんが死んだ知らせを悲しく受けとった
その夏のほおずきには優しい面影

誰もが誰もを構わない一人はとても身軽で
まわりに流れをあわせたら心はどこか疲れて

ああ はるか未来に
ああ たどりつく
ああ 永遠の眠り続ける季節よ

ふるさとにつながる道は見失ったけれど

たくさんのなつかしさに背中を押されて
ゆっくりと歩きたい はじめての夢だから

あんなに僕を守ってくれた町を
どうして恥ずかしいなんて思ったのだろう

ふるさとを恋しがるような涙はいやだけれど
ときどきは胸の中からそっと取り出して
抱きしめてあげたい 大切な場所だから

但馬のみなさんにメッセージを、とお話を
頂いた時、迷わずこの歌詞をお贈りしよ
うと思いました。時々もう友人のメー
ルには、故郷での生活も決して楽ではない
とあります。雇用機会の少なさから家庭
内の事情に至るまで、描いた未来の前
には様々な壁が立ちはだかっているよう
で、そんな時だからこそ、着実に前進
しているんだと信じて頑張つて欲しいと思
います。東京に出るから随分たちますが、
これからも相変わらず迷いが絶えること
はありません。それでも今までやってこ
れたのは但馬の存在が僕を慰め、励ましてく
れたからなんです。これからも、誠心誠
意音楽活動が続けてゆきますので、どうぞ
アポロをよろしく願います!